

教科名	工業	科目名	工業技術基礎	
科目の目標	工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させるとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を育てる。			
履修学年	1 学年	学科・コース	建築科	
単位数	3 単位	授業形態	一斉授業	
教科書	建築設計製図 (実教出版)	副教材等		
1 学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・製図用具の使い方を知り、日本工業規格 (J I S) における基礎製図に関する基礎的な知識と技術を養うこと。 ・軸組模型を作ることで、立体的・空間的な創造効果を培うこと。 			
2 学習内容と進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・製図は線・文字の練習、平家建専用住宅の図面を作成する。 ・1/30の軸組模型を1人1作品、作成する。 			
3 学習の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・製図は書けば書くほど上達するので、常に丁寧に書こうと思う気持ちを持って取り組むこと。 ・製図用具は大事に取り扱うこと。 ・模型作成の際は、先生の指示をよく聞き、自他の安全には十分配慮し活動すること。 ・作業が終わったら、必ず身の回りの片付けを行う。(一仕事、一片付けを心掛けて) ・授業中は携帯電話の電源は切ってバック等にしまうこと。 ・道具の貸し借りをせず、忘れ物はしないようにすること。 ・始業のチャイムが鳴るまでに作業の用意をすること。 			
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」については、出席・授業態度提出期限を評価します。 ・「知識・理解」「思考・判断・表現」については、製図における学習の定着度を評価します。 ・「技能」については、正確に図面を描くことで評価します。 ・「未提出課題を放棄した場合、単位は認定されません。」 			
5 授業計画				
月	単元	学習内容	評価の観点	考查等
4	工業技術基礎を学ぶにあたって	オリエンテーション 製図用具の使い方		
5	第1章 製図の基本	* 演習課題 線の練習	【関】製図用具を正しく使えるように指導する。出席・授業態度提出期限で評価する。 【技】正確に線を描くことを評価する。	この単元を自己評価してみよう A B C
6		* 演習課題 文字の練習	【関】文字の練習や図面の配置等が適切描かれているかを評価する。 【技】正確に線を描くことを評価する。	
7	第3章 建築の設計製図		【関】授業に出席し、意欲的に製図等に関心を持って参加している。また、作品の提出が遅れることなく出来ているか。	この単元を自己評価してみよう A B C
8	第4章 木構造の設計製図 平家建専用住宅	製図例 2-1 ・配置図 ・平面図	【技】正確に線を描くことを評価する。 【思】課題において直面した問題に対しても、解決する姿勢が身に付いているかを評価する。 【知】製図をするにあたり、基礎・基本的な知識が身に付いているか評価する。	
	トレース技能検定	トレース技能検定 3級 実技問題	【関】資格取得に意欲的な態度で臨んでいるかを評価する。	

9			【技】見本を正確にトレースしているかを評価する。	
10	現場見学会	木造在来住宅、鉄筋コンクリート構造配筋	【関】建物の構造を実際建築されている建物を見て造詣を深めているか。	
11	第4章 木構造の設計製図 平家建専用住宅	製図例2-3 ・立面図 ・断面図	【関】授業に出席し、意欲的に製図等に関心を持って参加しているか。提出期限を守れているかを評価する。 【技】正確に線を描くことを評価する。 【思】課題において直面した問題に対しても、解決する姿勢が身に付いているかを評価する。 【知】製図をするにあたり、基礎・基本的な知識が身に付いているかを評価する。	この単元を自己評価してみよう A B C
12	模型制作	・軸組模型	【関】作業に集中し、意欲的な態度で取り組んでいるかを評価する。 【技】図面から模型の正確な部品を作ることができ、組み立てることができるかを評価する。 【知】軸組の成り立ちや、詳細部の収まりを理解しているかを評価する。	この単元を自己評価してみよう A B C
1				
2				
3				

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。